

早稲田中学校 教職員向け勉強会

開催日時：令和6年8月6日（土）11:00～12:00

開催会場：広島市立早稲田中学校 音楽室

参加者：広島市立早稲田中学校（教員）、早稲田学区自主防災連絡協議会（合計18名）

早稲田学区の防災教育を進めるため、中学校の先生方との勉強会を開催しました。今年は、学区全体の防災まちづくりについて説明した後、能登半島地震を受けて地震に関する話題などを中心に説明を行いました。先生方からの質問や感想もいただきながら、意見交換などを行いました。

1. わせだ自主防会長挨拶、自己紹介

2. 早稲田学区における防災まちづくり（説明：自主防）

1) 早稲田学区における災害の危険性・町内別の特徴

- ・学区で想定される災害
- ・学区における土砂災害の危険性
- ・平成30年7月の西日本豪雨における災害発生
- ・各町内会エリア別の災害における注意点

2) 早稲田学区における自主防災活動

- ・わせだ防災プランによる防災まちづくり
- ・早稲田学区の自主防災組織、自主防災活動
- ・学区における子ども防災教育プログラム
- ・中学校での防災学習
- ・ジュニア防災リーダーによる防災活動

3) 能登半島地震と広島の地震

- ・能登半島地震の被害概要
- ・能登半島地震の被災者の現状
- ・広島における地震の危険性

4) 早稲田学区における地震・火災について

- ・学区の地震被害の想定
- ・学区内の大規模盛土造成地とその危険性
- ・大規模火災時の対応

3. 意見交換

4. 参考情報

- 1) 能登半島地震の被災地における「先生応援プロジェクト」NPO法人カタリバの取り組み紹介
- 2) 早稲田学区における受援力向上の取り組み



西田会長の挨拶

広島市立早稲田中学校 教職員向け防災勉強会

●牛田早稲田二丁目上町内会エリアの注意点

◇土砂災害にも地震にも弱く、学区内で最も危険なエリア。

（基本データ）	
人口	：約800人
世帯数	：約360戸
マンション	：7棟
土砂災害警戒区域内の戸数	：257戸（最大）※
※集会住宅は2層までの戸数を計上	

土砂災害に対する注意点

ほぼ全域が土石流がかげ崩れの土砂災害警戒区域内に含まれており、土砂災害には特に注意が必要です。牛田山付近を源頭とする土石流の危険渓流が2箇所あり、学区内で最も被害が基大になる危険性があります。道路は幅が狭いところがほとんどで逃げ場がなく、移動にも時間がかかるなど、避難行動でも注意が必要になります。

地震に対する注意点

早稲田団地が開発される前から居住されている家も多く、家屋の耐震性には課題があります。地震での家屋の倒壊に加え、通電火災などにより火災が多発すると道路が狭いことから消火活動にも障害が発生する危険性があります。

11

説明資料（町内会エリア別の注意点）



先生方との意見交換